

■久永市議の質問にたいする教育長の答弁 2017年12月議会(11月27日)

私から、御質問の1番目、「子どもと向き合える教職員のための多忙化解消について」の1点目「愛知県の「教員の多忙化解消プラン」の進捗状況について」の3項目目「大府市では「教員の多忙化解消プラン」をどのように位置付け、その進捗状況はどうか」についてお答えし、その他の項目については担当部長が答弁いたしますので、よろしく願いいたします。

愛知県教育委員会が策定した「教員の多忙化解消プラン」につきましては、本市教育委員会といたしましても、学校と一体となって取組を進めていくべきものと考えております。

本市の取組の一例として中学校の部活動におきまして、4中学校の校長と協議を重ね、本年度から6月と7月の朝の部活動を中止しております。各校や教育委員会には生徒の保護者から「なぜ、やめるのか」といった御意見もありましたが、このことにつきましては、真夏の練習で汗だくとなった生徒が、その後に授業を受けることも勘案して出した結論であります。

その他にも、学校事務の効率化の推進や、本市独自の各種支援員の配置など、教職員の多忙化解消に向けて積極的に取り組んでいるところでございます。

ここで大切なのは、単に教員の多忙化解消だけをねらいとするのではなく、本市の学校教育の基本理念である「心身ともに健康で知恵と愛をもつ子の育成」の実現のために、教員が意欲をもって積極的に教育活動に取り組むことを中心に据え、多忙化解消を考えていくことです。

本市では4月から、校長会と教育委員会が「大府子ども教職員を元気にするプロジェクト」(通称「元気PT」)を立ち上げ、話し合いも進めております。これまで第1期として、支援員等の配置や事務機器の充実など、予算が絡むものを中心に話し合ってきました。現在も第2期として引き続き、学校及び学校が関係する各種行事の見直しを進めております。

教育委員会といたしましては、これらの内容の早期実現を目指すとともに、教職員自身の意識を改革していくことで、在校時間が月80時間を超える教員の割合がさらに縮減できるものと考え、取り組んでいるところでございます。